



がんばろう 日本 がんばろう 学舎

佐藤指導員プロデュースによる垂れ幕は、聖火の点火とともに選手の頭上にはためき、見上げる人々からは歓声があがった。

垂れ幕は写真(左)のようになりの大作。制作時まさかしく苦労したのではと、担当の生活情報コースに尋ねたところ、皆さんからは意外にも「楽しかったよ」という声。コースでひとつのことに取り組む醍醐味を味わった様子がうかがえた。

また、中央の燃え盛る聖火は文化伝承コース・弥永さんが描いたもの。

11年 観戦記

押し込みの裏技です

「アンパン」ほそー

はしごをくぐって、走り縄跳びをした時点で、選手たちはその持てる力の9割方を使い果たしていた。

最後のミッション、アンパンに食らいつくのは、思った以上に困難を極めた。疲労と揺れるロープでなかなか口の狙いが定まらないのだ。思わず手が出たその瞬間、実行委員から「手、使ったらいけませんよ」の声が。



気持ちは籠に 玉は外に

「玉入れ」

皆さん、毎度おなじみの「玉入れ」。しかし、なにせ年一回



の出番。距離感が計れず、歯がゆい思いをされたのでは？

籠の真下から垂直ぎみに複数の玉を同時に投げ入れる、なんてコツがあるとか、ないとか。季節ものですので、来年も出場を果たして、ぜひ、お試しいただきたい。

押し込みの裏技です

「アンパン」ほそー



美しき女の闘い

フルマラソン1000



それは、42.195kmを駆け抜ける闘い…。ウォーミングアップのし過ぎなのか？いや、単に勢い余ってしまったのか？転倒者もちらほら見受けられる中、見よ、駆け抜けて、ゴールテープを切る、この満面の笑みを。カッコいい！